

## 社長メッセージ



三井物産株式会社  
代表取締役社長

飯島 彰己

### 「日本を元気に、世界を豊かに」

三井物産は、時代のニーズに応える仕事を通じて豊かな世界の実現に貢献できるよう、世界を舞台に多様なビジネスに挑戦し新たな価値を創造することに努めてまいりました。この視点にたち、産業基盤の整備や生活物資の安定供給等に資することを念頭に、関連する投資事業やトレーディングによる物流事業を世界各地で幅広く展開しています。日本においても、環境、エネルギー、農業、医療等の成長分野で新規案件の開拓を目指すと同時に、東日本大震災からの復興支援としての社員のボランティア活動や三井物産環境基金を通じた社会貢献活動にも注力しています。

### 変わらぬ使命

～「良い仕事」の追求こそが三井物産の CSR

事業環境が激しく変化する現代においては、変化を捉えて業態を進化させる柔軟性が不可欠ですが、私たちが決して変えることなく連綿と引き継いできたDNAがあります。それは時代のニーズに応え社会の課題を解決する「良い仕事」を追求する姿勢であり、これは正にCSR経営の推進といえます。そして、「良い仕事」を創造して豊かな次世代の実現に貢献していくことが当社の使命であると考えています。この考え方は、全世界の当社グループ企業で共有しており、三井物産グループ全体の使命となっています。

### 次の世代へ「人」を育成する

次世代への貢献を目指した「良い仕事」を支えるのは、何よりも「人」です。不確実性の高い現代社会で当社が社会的責任を果たしていくために、社員一人ひとりが経営者の目線を持ち、時機を逃さぬよう自ら主体的に判断して行動することが特に大切な時代になってきていると思います。

そのために、知識や専門性に加え、倫理観や向上心、謙虚さや感謝の気持ちを併せ持つ心技双方のバランスのとれた人材を育てていくことは、極めて重要なテーマです。最大の資産である人材を大切に育成し、「育てること」を次の世代に伝承していく、これこそが、当社を支える原動力であると考えています。

### 持続可能社会の実現に向けて

世界の持続可能な成長を実現するために各企業の創造力を結集させるという趣旨に賛同し、当社は2004年10月に国連「グローバル・コンパクト」の支持を宣言しました。2007年12月には「サプライチェーンCSR取組方針」を策定し、また、世の中の変化に応じて「CSR基本方針」を見直しながら、その遵守と実践に取り組んでいます。

三井物産は、これからも社会の課題と向き合い、世の中の役に立ち、お客様に評価され、自分自身にも納得感のある「良い仕事」を創り続けることで、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。